

令和2年度 課の事業一覧

組織名	建設局 総務課		重点項目	局内の連絡調整、予算および決算に関する事務を適正に行う。						
課長名	河端 隆一	コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	2,716,134 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				令和元年度当初予算額(B)	2,794,916 千円		116,500 千円	係長	3	人
				増減額(A-B)	-78,782 千円			職員	10	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				土木職員費	土木職員費	—	2,730,362	2,658,665	-71,697
2				西部整備事務所(コン ティ)管理経費	西部整備事務所に係る管理経費	—	7,633	7,794	161
3				建設総務一般	総務および用地管理に係る一般事務経費	—	14,451	13,205	-1,246
4			○	研究会等参加事業 (人権研修会等経費)	人権研修等の参加に要する経費	—	146		-146
5				土地取得特別会計繰出 金	土地取得特別会計への繰出金	—	37,810	29,934	-7,876
6				東西整備事務所保有車 両リース化事業	東西整備事務所が保有する車両の一括リース化	—	4,514	4,556	42
7		○		<新>建設局保有車両 リース化経費	建設局が本庁舎で保有する車両の一括リース化	—		1,980	1,980

令和2年度 課の事業一覧

組織名	建設局 管理課		重点項目	道路の適正管理						
課長名	猪本 由美子	コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	285,067 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				令和元年度当初予算額(B)	281,491 千円		101,500 千円	係長	3	人
				増減額(A-B)	3,576 千円			職員	8	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				道路台帳整備	市の管理する道路の台帳図、調書を整備し保管する業務	—	156,023	157,922	1,899
2				道路不法占用物件除却 事業	道路交通の安全及び良好な景観を形成する上で支障となっている不法占用物件を除却し、道路利用の適正化を図るとともに、安全で快適な道路環境を保持するもの	—	1,370	1,370	0
3				屋外広告物規制事務	屋外広告物法及び条例に基づき、まちの良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、公衆に対する危害を防止するため、広告物の掲出方法・維持管理等について、規制・指導を行うもの	—	36,005	37,698	1,693
4				道路管理システム	道路占用管理業務をコンピュータ処理することにより、占用許可業務の合理化、道路工事調整業務の迅速化及び事故防止対策の徹底、その他道路及び占用物件管理業務の高度化を図るもの	—	64,572	63,653	-919
5				土木管理一般	道路管理事務に係る一般事務経費	—	23,521	23,824	303
6		○		<新>土木管理一般(臨時)	普通財産(全日本自由労働組合事務所)の処分に係る経費	—		600	600

令和2年度 課の事業一覧

組織名	建設局 用地管理課		重点項目	地籍調査事業を計画に基づき着実に進めていく。						
課長名	太田 真千子	コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	102,196 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				令和元年度当初予算額(B)	102,523 千円		係長	5	人	
				増減額(A-B)	-327 千円		職員	14	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				地籍調査事業	国土調査法に基づき、一筆毎の土地の所在・筆界・面積等を調査・測量し、境界を明確化するもの。 調査の成果は法務局に送付後、登記に反映される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の国土強靱化基本計画に基づき策定された北九州市国土強靱化地域計画において、大規模自然災害発生後の復旧・復興を円滑に進めるため、ハザードマップ上の土砂災害警戒区域、浸水想定区域を含めた地域の地籍調査を積極的に推進する。</li> <li>地籍調査事業の着実な推進のため、一筆地調査計画面積は0.89km<sup>2</sup>を予定している。</li> </ul>	102,523	102,196	-327

令和2年度 課の事業一覧

組織名	建設局 道路部 (道路維持課、道路計画課、 道路建設課、街路課)		重点項目 本市の成長戦略及び都市の強靱化に大きく関わる路線、早期に整備効果が発現される路線を重点的に整備する。また、通学路の安全対策などを着実に実施し、安全で安心な都市基盤の整備を推進するとともに、橋梁・トンネルの長寿命化、道路構造物の定期点検を計画的に実施し、効率的で適正な維持管理に取り組む。								
	課長名	宮野 謙剛、北島 徳隆 福田 訓己、山添 和己		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	26,594,567 千円	人件費	目安の金額	課長	5 人
					令和元年度当初予算額(B)	31,582,062 千円	係長		17 人		
					増減額(A-B)	-4,987,495 千円	職員		49 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			東九州自動車道等整備 促進経費	東九州自動車道建設促進協議会および国道3号黒崎バイパス建設促進期成会等の要望活動にかかる経費。	東九州地域間の交流促進や空港アクセス機能強化、黒崎地区の渋滞緩和による物流の効率化を図るため、協議会を通じ国等に積極的に働きかける。	4,090	3,740	-350
2				施設維持管理事業(指定 管理)	河内サイクリングセンターの管理運営業務に係る指定管理業務委託料	指定管理者と協力し、効率的・効果的な施設運営を行い、サービスの向上と利用促進を図る。	2,721	2,746	25
3				施設維持管理事業(公 共)	河内サイクリングセンターの施設運営及び維持管理経費		236	117	-119
4				放置自転車対策事業(指 定管理)	自転車駐車場の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	市営自転車駐車場の利用実態や周辺の放置自転車の状況等を総合的に勘案し、安全・安心な駐輪環境の提供と効率的な自転車駐車場の管理運営、放置自転車対策に取り組む。	232,558	234,700	2,142
5				放置自転車対策事業	自転車駐車場の維持管理と放置自転車の撤去等に係る経費		58,654	59,734	1,080
6				自転車利用促進事業(行 政経費)	コミュニティサイクル(シティバイク)のステーション運営及び利用促進に係る経費	効率的・効果的な施設運営を行い、サービスの向上と利用促進を図る。	2,730	2,754	24
7	○			防災・安全交付金(道路 維持)	長寿命化修繕計画に基づく橋梁・トンネル・モノレールインフラ部等の修繕・定期点検、舗装補修等の道路施設の補修を実施する。	道路構造物の定期点検、長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施し、アセットマネジメントの考え方を取り入れ、効率的・効果的な管理を実践するとともに、市民生活に身近な生活道路の環境整備を進め、安全・安心なまちづくりを推進する。	3,585,534	1,016,000	-2,569,534
8	○			防災・安全交付金(道路 維持)(臨時)	長寿命化修繕計画に基づく橋梁・トンネル・モノレールインフラ部等の修繕・定期点検、舗装補修等の道路施設の補修を実施する。		911,000	2,503,000	1,592,000
9	○			若戸大橋・若戸トンネル 長寿命化事業	若戸大橋・若戸トンネルの予防保全型の維持管理を長期保全計画に基づき実施する。		250,000	250,000	0
10	○			単独事業(道路維持)(臨 時)	道路舗装等の道路施設の補修を実施する。		2,521,800	1,509,000	-1,012,800
11	○			市民による地域のまちづ くり整備事業(道路維持)	身近な生活道路の環境整備や補修などの充実を図り、区における地域主体のまちづくりを推進する。		682,200	757,850	75,650
12				にぎわいの都市づくり(道 路維持)	都心・副都心及び主要駅周辺のエスカレーター・エレベーター等の適切な維持管理を行う。		336,000	336,000	0
13				公共施設等適正管理推 進事業	道路の適正な管理を実施するため、補助事業等と一体となって道路施設の長寿命化対策を推進する。		500,000	500,000	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
14				道路一般維持(公共)	生活道路等の維持管理を実施するための経費。		1,348,500	1,346,940	-1,560
15				道路管理施設維持(公共)	道路照明灯やトンネルなどの施設を維持管理するための経費。	市民からの通報や要望を踏まえ、緊急度を勘案した上で、効率的・効果的な維持管理を実施する。	608,471	608,471	0
16	○		若戸大橋・若戸トンネル維持管理事業	若戸大橋・若戸トンネルの維持管理を実施するための経費。	100,000		100,000	0	
17	○		道路サポーター	道路の清掃や花壇の手入れなどを行う地域団体の活動を支援し、道路の美化につなげる。	17,029		17,071	42	
18	○		恒見朽網線関連事業(道路改築)	新門司港、北九州空港移転跡地、臨空産業団地、北九州空港などの産業物流拠点が集積する周防灘沿岸部の物流機能強化を目的に恒見朽網線などの道路整備を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	2,533,704	335,000	-2,198,704	
19	○		国直轄事業負担金	国が実施する道路新設改良事業等に係る経費を一部負担する。		1,115,666	1,115,000	-666	
20	○		社会資本整備総合交付金(道路改築)			1,441,216	2,891,000	1,449,784	
21	○		都市再生整備計画(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。		18,000	11,000	-7,000	
22	○		単独事業(道路改築)			710,000	609,000	-101,000	
23	○		防災・安全交付金(交通安全)	通学路の安全対策のため歩道・防護柵など交通安全施設の整備や事故が多発する交差点の改良を行う。		1,335,995	1,220,000	-115,995	
24	○		単独事業(交通安全)	事故が多発する交差点の改良や歩道・防護柵など交通安全施設の整備を行う。	910,000	870,000	-40,000		
25			○	朽網駅前自転車駐車場(西口)整備事業	朽網駅前自転車駐車場(西口)の整備を行う。	—		-70,000	
26	○	○		<新>都市再生整備計画(道路景観)	小倉都心地区、黒崎副都心地区にふさわしい、景観に配慮した道路の整備を行う。	本市のにぎわいづくりやイメージアップに寄与する効果的な事業を実施するため、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。		100,000	100,000
27	○			単独事業(道路景観)	世界の環境首都をめざし、景観や環境に配慮した道路の整備を行う。		210,000	161,000	-49,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
28	○			戸畑枝光線(街路)(重点)	企業進出が進む響灘地区、戸畑区臨海部、東田地区の物流機能強化を目的に戸畑枝光線の整備を行う。  事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。  地方道の都市計画道路の整備を行う。		3,990,000	1,805,000	-2,185,000
29	○		戸畑枝光線(街路)(債務負担)	600,000			300,000	-300,000	
30	○		社会資本整備総合交付金(街路)(債務負担)	1,976,378			1,611,620	-364,758	
31	○		社会資本整備総合交付金(街路)(裁量)	2,252,760			1,428,380	-824,380	
32	○		単独事業(街路)	516,500			416,500	-100,000	
33		○	モノレール停留場老朽化対策事業	モノレール停留場における老朽化対策を実施する。	—	0		0	
34			公債償還特別会計繰出金	—	—	340,320	2,472,944	2,132,624	
35			街路事業用地先行取得事業	街路事業用地の先行取得を実施する。	—	2,400,000	2,000,000	-400,000	

令和2年度 課の事業一覧

組織名	建設局 公園管理課		重点項目	公園、霊園及び街路樹等の適切な維持管理の実施。							
	課長名	河田 守胤		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	2,662,578 千円	目安の金額	課長	1 人	
						令和元年度当初予算額(B)	2,662,410 千円		76,500 千円	係長	2 人
						増減額(A-B)	168 千円			職員	6 人
			人件費								

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				有料施設等管理委託 (指定管理者)	「響灘緑地」、「平尾台自然の郷」、「山田緑地」、「到津の森公園・ひびき動物ワールド」、「白野江植物公園」、「志井ファミリープール」、「勝山公園・あさの汐風公園」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	806,981	804,132	-2,849
2				有料施設等管理委託 (財源配分)(公共)	市立霊園に係る管理運営経費	—	43,250	43,250	0
3				有料施設等管理委託 (財源配分)(その他)	市立霊園に係る管理運営経費及び有料公園施設の備品購入経費	—	15,916	15,889	-27
4				到津の森公園基金積立 事業	到津の森公園基金積立事業	—	20,000	15,028	-4,972
5				到津の森公園動物導入 事業	動物の移送・購入	—	5,000	5,000	0
6				公園等維持管理事業	市内全域における公園等の維持管理事業	—	1,532,241	1,532,241	0
7				自然保護管理	風致地区、特別緑地地区、自然公園等の維持管理事業	風致地区、特別緑地地区、自然公園等の緑を保全していくために、今後も維持管理を継続していく。	2,030	2,057	27
8				公園等一般管理(維持& 内部管理)	市内無料公園の維持管理事業	歴史資産を活用した魅力的な空間を保つため、花見時期における公園の維持管理に積極的に取り組む。	223,533	224,026	493
9	○			公園管理活性化事業	公園愛護会事業	公園愛護会が活動しやすい仕組みづくりに継続して取り組み、団体数の維持・増加に努める。	6,143	6,143	0
10				市立霊園使用促進業務	市立霊園有効利用のための未使用区画及び無縁墳墓調査等整理事業	—	4,736	4,732	-4
11				菜園などの地域コミュニ ティ活性化に資する公園 活用事業	高齢者の健康づくりや世代間交流の場となる「地域菜園」や「花壇」など、地域のニーズに応じた整備事業	整備予定の公園(1件)について地元調整中。関係者の連携を図り、地域ニーズに合った整備を進めていく。	2,580	2,580	0
12		○		<新>今後の市立霊園 のあり方検討事業	今後の市立霊園のあり方について検討するための事業	—		5,500	5,500
13		○		<新>公園等巡視点検 ICT化事業	公園等巡視点検ICT化事業	—		2,000	2,000

令和2年度 課の事業一覧

課長名	竹島 久美	コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	2,575,110 千円	人件費	目安の金額			
				令和元年度当初予算額(B)	2,846,500 千円		課長	1	人	
				増減額(A-B)	-271,390 千円			係長	3	人
									職員	6

- 重点項目
- 環境首都にふさわしい緑のシンボルづくり（曾根・豊岡地区）
  - 集客力を高める公園の魅力づくり（血倉山リニューアル事業ほか）
  - 公園施設のストック再編による市民ニーズの対応（桃園公園等施設再配置推進事業、大里公園、地域に役立つ公園ほか）
  - 安心安全のための公園施設の回収（皇后崎公園、公園施設長寿命化ほか）
  - 市民・企業・行政の協働による公園整備および管理運営（管理が容易な公園整備）

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				血倉山リニューアル事業	平成27年度に官営八幡製鉄所関連施設が世界文化遺産に登録されたことを契機に、観光振興をさらに向上させるため、血倉山周辺の新たな魅力創出のための山頂エリアの施設整備や駐車場整備などを行うもの。	山頂エリア付近での天空ドームの建て替え工事を行う。	6,000	51,000	45,000
2				桃園公園施設再配置推進事業	桃園公園にあるスポーツ・文化施設の再整備について、広域的・長期的な視点から検討を行い、施設の再配置計画を策定するもの。	桃園公園:旧室内プールの撤去工事および駐車場整備 城山緑地:遊具広場整備	283,000	137,000	-146,000
3				曾根・豊岡地区公園整備事業	曾根・豊岡地区(9.7ha)において、グラウンド、野鳥観察エリアなどの整備を行う。	令和3年度の一部供用開始に向け、駐車場整備、グラウンド整備、防球フェンス、用地買戻しなどを行う。	410,000	883,000	473,000
4				登山道・遊歩道の整備	登山ブームや平成28年に施行された「山の日」に対応し、眺望の確保や標識の設置、危険箇所改修を行うもの。	玄海遊歩道ほかでの除草、伐採などの整備を進める。	5,500	5,000	-500
5	○			社会資本整備総合交付金(公園)	都市公園を整備し、市民満足度の向上を図る。	響灘緑地の子ども遊び場ゾーン整備、地域に役立つ公園事業、緑地保全地区用地の買入を進める。	287,000	176,000	-111,000
6				防災・安全交付金(公園)	防災公園を含めた都市公園を整備・改修し、非常時、通常時を含めた安全性の確保を図る。	都市防災事業として皇后崎公園、大里公園に一時避難地としての広場整備、公園施設の長寿命化整備を進める。	471,000	259,000	-212,000
7	○			公園緑地事業(単独)(裁量)	住区基幹公園、都市基幹公園等の整備を行う。	—	395,180	386,600	-8,580
8	○			公園緑地事業(単独)(臨時)			528,490	540,000	11,510
9				霊園整備事業	霊園の園路改修や樹木整理を行う。	—	45,500	42,500	-3,000
10				市民による地域のまちづくり整備事業(公園)	市民等の要望に応じて、公園の改修等を行う。	—	10,000	10,000	0
11	○			花と緑のまちづくり推進	市民花壇、公共花壇などの整備や都市緑化に関する普及啓発事業を行う。また都市緑地法第二条に基づく、「緑の基本計画」を推進する。	—	72,030	74,260	2,230



No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12				大都市公園機能実態調査	国土交通省、大都市(21市)、(社)日本公園緑地協会の3者により、大都市が抱える課題の共同調査を行う。	—	2,000	2,000	0
13				水と緑の街づくり事業	水と緑の基金を原資とし、民有地緑化助成事業、保存樹診断事業を行う。	—	2,800	6,750	3,950
14				水と緑の基金積立金	水と緑の基金の運用益、寄付金を積み立てる。	—	2,000	2,000	0
15			○	旧安川邸利活用事業	夜宮公園に隣接する私設の建造物を市に寄付で受け入れ、観光施設として改修するもの。	令和元年度で事業終了	300,000		-300,000
16			○	コンクリートブロック塀安全対策事業	公園施設のコンクリートブロック塀の現地点検結果により、傾きやひび割れが確認されたため、改修を行う。	令和元年度で事業終了	26,000		-26,000

令和2年度 課の事業一覧

組織名	建設局 河川部 (水環境課、河川整備課、 神嶽川旦過地区整備室)		重点項目 小倉都心部の浸水対策については、引続き重点的に取り組む。 その他の地区についても、近年頻発する豪雨災害を踏まえ、計画的な河川改修を推進する。 平成30年7月豪雨により、浸水被害が発生した箇所を中心に治水能力向上を図る。									
	課長名	大貝 保志 清水 俊光 船越 英明		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	4,022,081 千円	人件費	目安の金額	課長	3	人
					令和元年度当初予算額(B)	3,751,725 千円	係長		8	人		
					増減額(A-B)	270,356 千円	職員		22	人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			重点河川(小倉都心部)整備事業	新成長戦略上も重要な小倉都心部の浸水対策を推進するため、神嶽川、紫川(MM区間)を重点河川と位置づけ、集中的に河川改修を行う	国土強靱化に伴う都心部の治水機能強化のため、重点河川に紫川(MM区間)を追加	45,000	168,000	123,000
2	○			都市再生整備計画(河川)	景観整備等のハード対策及び、賑わい創出等、まちの活性化を目的としたソフト対策を行う。	人工の滝改修や周辺広場整備等を行い、都心部の水辺のにぎわいづくりを推進	35,000	200,000	165,000
3	○	○		<新>都市再生区画整理事業(河川)	旦過地区再整備にかかる土地区画整理事業を行う。	地元の協力を得ながら、市を施行主体として旦過市場を再編		135,000	135,000
4	○			豪雨災害から市民を守る緊急対策事業	平成30年7月豪雨により浸水被害が発生した箇所を中心に、河道掘削、護岸岸上等のハード対策や、監視カメラや警報装置の設置等、ソフト対策として情報システム強化を図る。	緊急自然災害防止対策事業債の終了期限(令和2年度まで)に合わせ、増額要求	520,000	770,000	250,000
5			○	災害関連地域防災がけ崩れ対策事業	平成30年7月豪雨の激甚災害指定に伴い、市で実施可能となったがけ崩れ対策事業。地域防災上、重要な箇所の復旧整備を進める。	事業終了	220,000		-220,000
6				河川管理施設等更新事業	老朽化した河川管理施設等を適切に更新するための経費	引続き治水事業の根幹となる河川整備を推進	68,000	68,000	0
7	○			防災・安全交付金(河川)	市内を流れる一・二級河川について、管理者である福岡県と協議の上、改修を行うもの	国土強靱化に伴う都心部の治水機能強化のため、に紫川(MM区間)が重点河川整備事業へ移動	1,962,000	1,746,000	-216,000
8			○	社会資本整備総合交付金(河川)	市民が河川を通して自然と親しめる水辺環境づくりを行う	—	9,000		-9,000
9	○			河川改良(単独)	主に普通河川を対象とした護岸、河床の改良及び予防保全を目的とした改修を行う。	—	492,700	535,700	43,000
10				市民による地域のまちづくり整備事業(河川)	各区まちづくり整備課において、市民要望を反映した身近なまちづくりの環境整備を行うもの	—	40,000	40,000	0
11	○			にぎわいの都市づくり(河川)	紫川周辺の河川環境の向上および、街のにぎわいに資する水辺の活用、周辺設備の充実を図るもの	—	26,590	26,590	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12				河川環境啓発推進事業	河川愛護団体間の交流促進事業、河川事業のPR、川についての知識や技術をもった「水先案内人」の育成などを行うもの	—	600	600	0
13				水環境館維持管理 (指定管理)	「水環境館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	25,049	25,190	141
14				水環境館維持管理(公共)	機器修繕費等、水環境館の維持管理経費	—	7,560	4,500	-3,060
15				ほたる館維持管理 (指定管理)	「北九州市ほたる館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	12,637	12,752	115
16				ほたる館維持管理(公共)	「香月・黒川ほたる館」の管理、清掃、警備に関する委託費や、光熱水道経費	—	7,320	5,040	-2,280
17				ほたる館維持管理(その他)	「北九州市ほたる館」および「香月・黒川ほたる館」の書籍等の拡充や老朽化した展示物の補修などにかかる経費	—	727	700	-27
18				ほたるのふるさとづくり	ほたる愛護団体への補助、地域における環境保全活動の指導者を育成する「ほたると水辺の環境学習会」の開催費など	—	3,366	3,835	469
19				河川台帳整備事業	河川及び水路の管理のため、その台帳等を整備するもの	—	8,146	8,147	1
20				河川管理権限委譲	一・二級河川について、福岡県からの河川管理権限の委譲について必要な協議を行うための経費	—	469	496	27
21	○			河川維持事業(公共)	河川・水路の草刈、浚渫、護岸修繕工事等に要する経費および河川愛護団体補助金	委託料及び工事請負費を増やすことで、災害時事前対応の強化を図る。	185,820	198,424	12,604
22				河川管理一般(公共)	河川情報システム等、災害時に現地情報を伝送するための設備の維持管理に必要な経費	—	14,965	10,557	-4,408
23				河川管理一般(その他)	河川賠償責任保険料や河川管理に必要な協議を行うための経費	—	4,522	4,144	-378
24				排水機場等維持管理事業(公共)	排水機場並びに防潮水門等の施設を適切に維持管理し、施設の正常な運転を行うための経費	—	59,974	58,406	-1,568
25			○	ほたるのサミット開催事業	例年持ち回りで開催している「ほたるのサミット」を北九州市で開催するために必要な経費	—	2,280		-2,280